

学校給食食材の放射性物質の測定検査の結果について（第6回）

検査は株式会社同位体研究所に依頼し、検査手法は放射性ヨウ素（I-131）と放射性セシウム（Cs-134、137）を判別して測定する核種検査としました。

検査の結果、放射性物質は検出されませんでした。

1. 測定日 6月27日
2. 検査機関 株式会社同位体研究所
3. 検査結果

品目	産地	放射性物質の濃度 (Bq/kg)				
		ヨウ素 (I-131)	セシウム (Cs-134)		セシウム (Cs-137)	
		実測値	基準値	実測値	基準値	実測値
6月19日 飲用牛乳	群馬県太田市 (東毛酪農業)	ND (<0.6)	50	ND (<0.6)	50	ND (<1.0)
6月26日 飲用牛乳	群馬県太田市 (東毛酪農業)	ND (<0.8)	50	ND (<1.0)	50	ND (<0.8)
えのき茸	長野県	ND (<0.6)	100	ND (<0.8)	100	ND (<1.0)
ぶなしめじ	長野県	ND (<0.9)	100	ND (<1.0)	100	ND (<1.0)
バター	北海道	ND (<0.8)	100	ND (<0.7)	100	ND (<1.0)
生クリーム	北海道	ND (<0.8)	100	ND (<0.7)	100	ND (<1.0)
さば	青森県	ND (<0.7)	100	ND (<0.6)	100	ND (<0.9)

※括弧内の数値は定量下限値で、NDは定量下限値にて不検出を意味します。